



SLCC だより

Shonan Lifestown Christ Church

2021年12月

Vol. 24

発行 日本福音キリスト教会連合
宗教法人 湘南ライフタウンキリスト教会
〒252-0816 藤沢市藤沢398-4
TEL 0466 (87) 3245
<http://slcc.sakura.ne.jp/wp/>

昨年2月、横浜港に入港したダイヤモンドプリンセス号と中国の春節を皮切りに新型コロナウイルスの感染拡大が始まりました。それからは、かつての日常を失い、新型コロナウイルスと共存する世界となりました。いや、それ以前にも、大震災が次々と日本列島を襲い、また、大雨による洪水や土砂災害に見舞われ、日常を失ったことが幾度もありました。

その度に人間の本性が露呈してしまうこともあったと思います。どこかの知事が津波を「天罰」と言ってみたり、元首相が女性軽視発言をしたり、それぞれが日常を失い追い込まれた結果のように思えます。とても気の毒に思います。

しかし、神がおられるのであれば、どうして、このような災いが次々に起こるのでしょうか。正直、答えることの難しい問いです。しかし、神が私たちに語られた聖書のことばを開きますと、以下のようにあります。

**「聖なる、聖なる、聖なる、
主なる神、全能者。」**

昔おられ、今もおられ、やがて来られる方。」

(新約聖書ヨハネの黙示録4章8節)

このことばは、神が着座される玉座がある、いと高き天において、御使いたちが神を賛美している歌です。

ここでは、「昔おられ」とありますが、いつからおられたのでしょうか。聖書の最初に「はじめに神が天と地を創造された。」(旧約聖書創世記1章1節)とあります。なんと私たちが生きるこの世界は、すべて神がお造りになったと言っています。つまり、私たちは、神の作品です。そして、神は、この世界を造られる以前より存在していた永遠なる方です。

次に「今もおられ」とあります。神は、私たちの世界をお造りになって、この世界から離れた方ではありません。今もおられる方です。今、起こっている出来事すべてをみなご存じであり、なおも完全にご支配をなさっておられます。神は、天の玉座に着かれています。その玉座は、すべてをご支配されている象徴です。つまり、コロナ禍をはじめ様々な災いすべてが神のご計画の中でなされています。神に造られた私たち人間には、そのご計画のすべてを明らかにしていないし、理解することができないでしょう。そのために、私たちは、今後どうな

るのかと不安を募らせるものです。それでも、神は、完全なる方、全能なる方で、そのご計画は、落ち度なく、完成されます。私たちは、その中で生かされています。

そして「やがて来られる方」ともあります。神は、私たちが生きる世界をお造りになり、この世界を始められました。始めがあれば、終わりが来ます。この終わりの時に神は、来られると言っています。それは、この世界に対する最期の審判です。神は「聖なる、聖なる、聖なる」と三度も繰り返されていたように、どこまでも「聖い」方です。それに対して、私たちは、多くの罪を持っています。聖書に「義人はいない、一人もいない」(新約聖書ローマ人への手紙3章10節)とあるように完璧な人間などいません。その聖い方が来られた時、私たちは、どうなるのでしょうか。その方が来られる前に私たちは、神に悔い改めて、キリストの十字架による罪の解決を求めましょう。

神は、先に触れましたが永遠なる方です。この永遠とは、時間の中でいつまでも生き続けることではありません。神は、時間に縛られず、時間の外に存在します。この神は、今をご覧になり、同時に天地万物を創造した始めを今の出来事のように見て、さらに未来における最終ゴールも同時に見ている方です。私たちが生きる世界は、神の作品であって、神のご計画のままに天の御国の完成に向かって進んでいます。その途上において多くの災いがありますが、それらも完成に向かっていくプロセスです。私たちも、その完成に向けて1つ1つの出来事に誠実に生きるものでありたいと願うものです。

湘南ライフタウンキリスト教会
牧師 菅野淳一